

## おはようございます

JA長野ハケ岳農業部

野菜課 主任 岡部 駿



5支所ある野菜販売事務所の実績確認や、契約関係の取りまとめをする一方、JA全農長野や広告宣伝会社などの協力を得て、各地のスーパーやWEB広告を使い、長野ハケ岳の野菜の消費アップに向けたPR活動にも力を入れています。4月から11月までという限られた期間の中で、生産者の皆さんが思いを込めて作った野菜をより多くの皆さんに知っていただくため、日々奮闘しております。

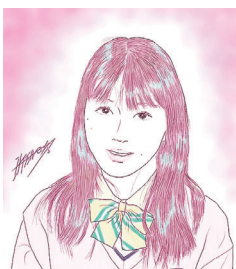
## 健康 Q & A

### 子どもにスマホを持たせる際の注意点は

**Q** 高校生の娘に娘用のスマホを持たせます。よくないことに使わないかと少し心配ですが、何かできることはありますか。(46歳、女性)

**A** 近年、子どもでも自分用のスマホを持つことが当たり前になりました。教育、医療関係者らでつくる「子どもとメディア信州」が、長野県と共同で行った子どもたちへのアンケートによると、2021(令和3)年の「自分用スマホ」の所持率は、小学生19.6%、中学生48.3%、高校生99.3%でした。県内では、高校生になるとほぼ全員が自分用のスマホを持つことになります。

スマホは確かに便利ですが、学習以外での長時間使用や依存症、課金の問題、SNSによる人間関係のトラブル、犯罪への関与や性被害の問題も年々増加しています。アンケートの結果からも、アダルトサイトを見た結果、アダルト関係の広告がしつこく出てきて困るという悩みが、小中学生でさえトラブル全体の3位以内にあげられています。



そうした問題を防ぐため、フィルタリング機能で、アクセスできる範囲や使用時間の制限ができる「ペアレンタルコントロール」という手段があります。全国調査では、ペアレンタルコントロールを使用している親は、高校生で35.6%ですが、県内の高校生では、13.8%にすぎません。ただし、こうした制限をかける場合でも、親が一方向的に決めるのではなく、子どもと話し合って納得の上で決める必要があります。

(JA長野厚生連長野松代総合病院 小児科部長 池野一秀、イラストも)

## お知らせボード

### ★「信州のそ菜」「信州の果実」購読者募集中

JA全農長野は、そ菜(野菜、きのこ、花き)や果樹栽培農家向けの技術・販売情報誌「信州のそ菜」=写真左=と「信州の果実」=同右=の購読者を募集しています。両誌は、全国に誇る長野県のそ菜、果実などの生産を見守り、支えてきた1956(昭和31)年から続く、通巻800号を超える伝統誌です。毎月1日発行。自宅へ直接お届けします。購読料(JA組合員価格)は1年間、12冊で送料・消費税込み4995円。

JA全農長野 生産振興部 ☎026・219・3811

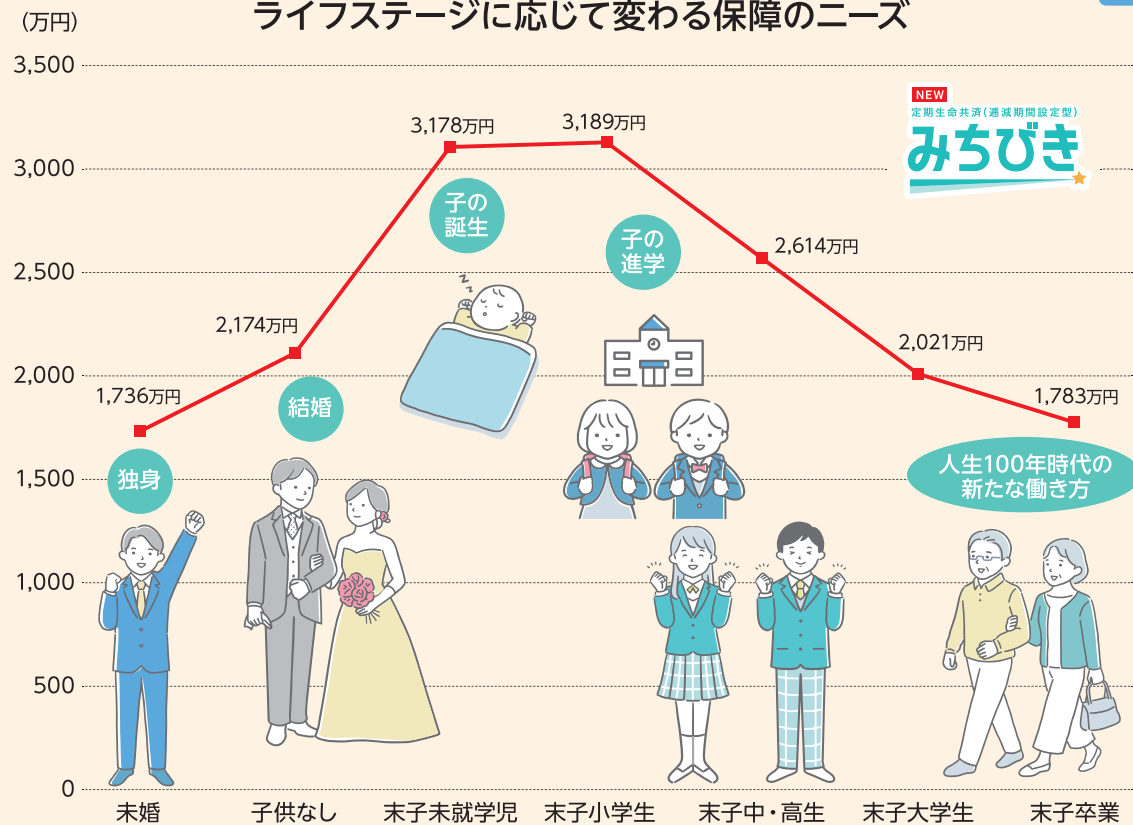


持続可能な地域社会へ  
JAは取り組んでいます



食と農で地域に笑顔をつくります  
〜次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立

## ライフステージに応じて変わる保障のニーズ



※生命保険文化センター「令和元年度 生活保障に関する調査」より作成

# 手厚い保障 柔軟に設計

進学、就職をはじめ多くの人が新しい生活を始める4月。JAの生命共済に今月からライフステージ(プラン)に応じて柔軟に設計ができる仕組み「定期生命共済(通減期間設定型)みちびき」が加わりました。導入の背景や賢い利用法をJA共済連長野で聞きました。

## 新生命共済「みちびき」

### ライフプランに合わせて変化

人生のさまざまなリスクに備える共済(保険)。最も大きい事態が命を絶たれる死亡でしょう。生命共済は、生涯の保障で備える終身共済と、加入時に設定した年齢(期間)まで保障する定期生命共済に大別されます。必ず訪れる死に対し、後者のように「定期」として一定の保障期間を設定すれば、同じ保障に対して掛け金は抑えられることが期待できます。新しく登場した「みちびき」

「みちびき」ではこうした事態を想定して、一定年齢から先の保障額を順次減らしていく(通減)ことで必要な掛け金を抑えます。減り始めるまでの期間(第1共済期間、最低1年間)、および共済金額を一定割合で減らしていく期間(第2共済期間)の設定に応じて変わりますが、これまでの生命共済に比べて割安な掛け金で保障を準備することが可能です(図2参照)。

### 若い世代にこそ十分な備えを

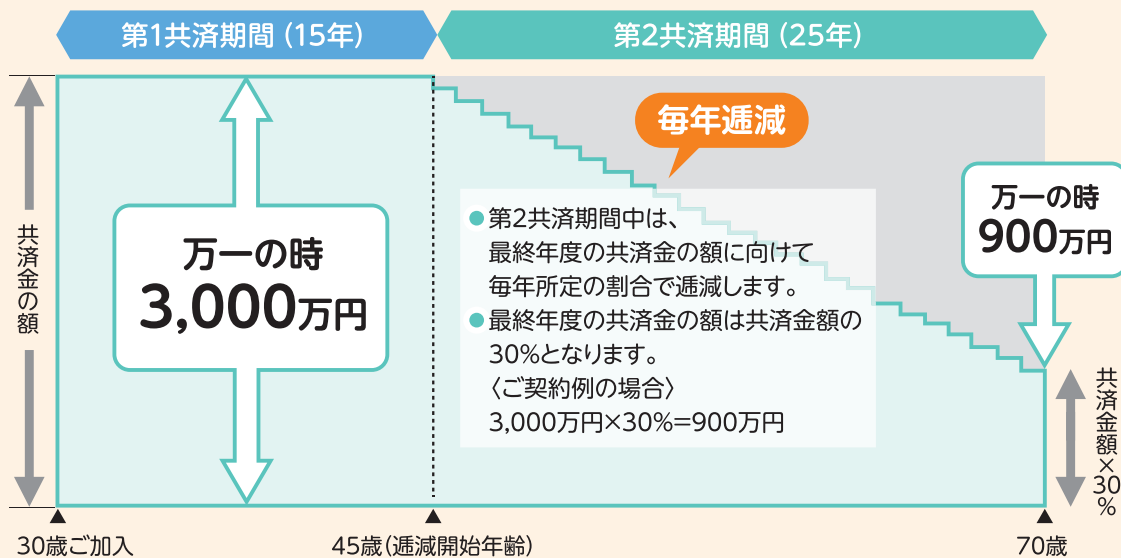
結婚すれば、配偶者に対しての備えが必要になります。子どもが生まれれば成長に従って、幼稚園(保育園)、小学校、中学校と教育費もかさんでいきます。家族が増えれば住宅についても考える必要があるでしょう。支えなければならぬ存在が増える分、手厚い保障が欠かせません。一方で年齢を重ねれば、子どもも成長し、やがて独り立ちすることが期待できま

す。必要な保障はその分減らしましょう(図1参照)。

「こくない」と思われるかもしれませんが、幼い子どもがいる場合など、ピーク時には3000万円を超える保障が求められる時期が人生にはあります。生命共済(保険)に加入していても、実際に必要な保障に届いていない時期が生じてしまっている残念なケースが多いのが実情です。「みちびき」はこうした若い世代こそ、適切なリスク管理をする上で考慮してほしい共済」とJA共済連は訴えています。

このほか「みちびき」では他のJA共済の生命共済と同様、死亡時だけでなく所定の重要要介護状態や第1級後遺障害となった場合も保障します。所定の障害状態となった場合は以後の掛け金は不要となる「共済掛金払込免除」も入っています。JA共済は常に利用者の立場に立った配慮を欠かしません。

## プランの例



## 適切な見直しへキャンペーン展開中!

人生100年時代。備えなければならぬリスクは時代や年齢によって大きく異なります。共済も1度入ったからといって放置しておく、実態にそぐわなくなっている可能性があります。

新しい生活が始まる4月。若年世代からシニアまで、JA共済連は各年代で求められる保障に合わせた共済の見直しを勧めています。県内各JA自慢の逸品をプレゼントする「フレッシュスタートキャンペーン」を4月30日(日)まで展開中。専門のライフアドバイ

ザーがいる最寄りのJA窓口はもとより、ウェブ(末尾のQRコードから)でも受け付けています。JA共済は農業者に限らず、どなたでもご利用いただけます。お気軽にご相談ください。

お問い合わせは、各JAまたはJA共済連長野普及支援課(☎026・219・6255)へ。



JA長野中央会 営農農政部

〒380-0826 長野市北石堂町1177-3  
TEL.026-236-2030 FAX.026-236-2008

いいJAん! 信州  
https://www.ijan.or.jp/



長野県のおいしい食べ方  
公式Twitter

